

専攻実習における栽培品目の検討

資料5

区分	主要品目	ハウス		露地		除外理由		
		共通	選択	共通	選択	年度またぎ	高難度	需要低い
葉茎菜類	はくさい				○			
	キャベツ				○			
	ほうれんそう	◎						
	ねぎ		○	○				
	たまねぎ					✓		
	しゅんぎく		◎					
	こまつな	◎						
	ちんげんさい		○					
	みずな		◎					
	にら					✓		
	レタス				○			
	セルリー						✓	
	カリフラワー				○			
	アスパラガス					✓		
	ブロッコリー				○			
	ふき					✓		
	みつば							✓
	サラダ菜							✓
果菜類	なす		○	◎				
	ミニトマト	◎						
	トマト		○					
	きゅうり	○						
	かぼちゃ				○			
	ピーマン			◎				
	さやいんげん				○			
	さやえんどう				○			
	えだまめ				○			
	スイートコーン				○			
	未成熟そらまめ		○					
	グリーンピース				○			
	果実的野菜	いちご					✓	✓
すいか					○			
メロン							✓	
根菜類	だいこん			◎				
	かぶ			○				
	にんじん			◎				
	さといも			○				
	やまのいも						✓	
	ばれいしょ				○			
	ごぼう						✓	
	れんこん					✓	✓	
	しょうが						✓	
	にんにく					✓		
	さつまいも			◎				
地域特産	うど					✓	✓	
	まくわうり(在来系)				○			
	ズッキーニ				○			
	スナップエンドウ					✓		
	タアサイ							✓
	つるむらさき				○			
	とうがらし							✓
	とうがん							✓
	なばな							✓
	にがうり							✓
	花みょうが							✓
	パプリカ						✓	
	非結球レタス				○			
	芽キャベツ							✓
	モロヘイヤ				○			
	ラディッシュ							✓
	ルッコラ							✓
わけぎ							✓	
バジル							✓	
しそ							✓	
計		4	7	8	18	10	9	13
うち◎(第一)		3	2	5	0			
うち○(第二)		1	5	3	18			

有機農業アカデミーの実習方法の検討

1 栽培品目

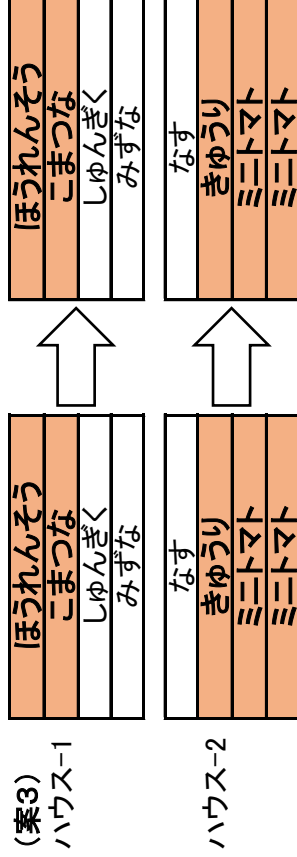
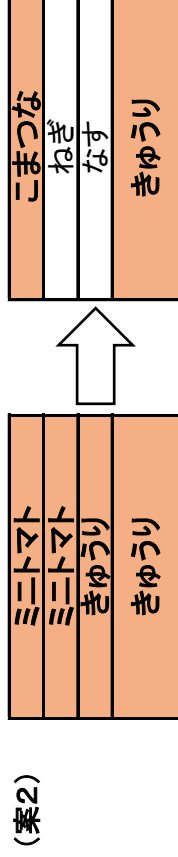
	ほ場管理手法	栽培品目		有機JAS 取得名義
		共通品目	選択品目	
案1	ハウス 個別管理	葉物野菜を周年栽培 2品目	葉物:2品目以内	農大
		ホウレンソウ、コマツナ	シュンギク、ミズナ、チンゲンサイ	
	露地 同上	春夏期:2品目 秋冬期:2品目	春夏期:2品目以内 秋冬期:2品目以内	
		春夏:ナス、ピーマン、カブ、サツマイモ 秋冬:ダイコン、ニンジン、パプリカ	春夏:サエントウ、スイートコーン、カブ、etc 秋冬:カブ、サヤ、etc	
案2	ハウス 個別管理	春夏:果菜類1、2品目(ニトマト、ホウリ)、秋冬:葉物(コマツナ、ホウレンソウ、ミズナ、etc)	春夏:果菜類1、2品目(ニトマト、ホウリ)、秋冬:葉物(コマツナ、ホウレンソウ、ミズナ、etc)	農大
		春夏:葉物(コマツナ、ホウレンソウ、ミズナ、etc)、秋冬:果菜類(ナス)	春夏:葉物(コマツナ、ホウレンソウ、ミズナ、etc)、秋冬:果菜類(ナス)	
	露地 同上	春夏期:2品目 秋冬期:2品目	春夏期:2品目以内 秋冬期:2品目以内	
		春夏:ナス、ピーマン、カブ、サツマイモ 秋冬:ダイコン、ニンジン、パプリカ	春夏:サエントウ、スイートコーン、カブ、etc 秋冬:カブ、サヤ、etc	
案3	ハウス 共通管理と2人で1ハウスを管理	共通管理 葉物1ハウス:2~4品目 果菜類1ハウス:2品目	2人で1ハウスを管理 選択品目から同じ品目を希望する者でマッチング	農大
		葉物:コマツナ、ホウレンソウ、ミズナ、etc 果菜:ニトマト、キュウリ、ナス	各自2、3品目	
	露地 個別管理	春夏期:2品目 秋冬期:2品目	春夏期:2品目以内 秋冬期:2品目以内	
		春夏:ナス、ピーマン、カブ、サツマイモ 秋冬:ダイコン、ニンジン、パプリカ	春夏:サエントウ、スイートコーン、カブ、etc 秋冬:カブ、サヤ、etc	

デメリット	メリット	デメリット
①ハウス栽培では栽培期間が短く、年数回の栽培機会が得られる(失敗してもやり直せる) ②同じ品目を栽培することで、学生同士で品質等を競うことができる ③収穫物のロットを確保でき、量販店への販売が行いやすい ④品目数が少なく、指導側の負担が少ない	①葉物野菜は栽培期間が短く、年数回の栽培機会が得られる(失敗してもやり直せる) ②同じ品目を栽培することで、学生同士で品質等を競うことができる ③収穫物のロットを確保でき、量販店への販売が行いやすい ④品目数が少なく、指導側の負担が少ない	①ハウス栽培での学生の自由度が少ない ②ハウス栽培で果菜類の栽培実習が行えない ③育苗を各自で行う必要がある
①ハウス栽培で葉物と果菜類の両方の栽培実習が可能 ②共通の品目を栽培すればロットを確保できる ③品目、作型が増え指導側の負担が増える	①ハウス栽培で葉物と果菜類の両方の栽培実習が可能 ②共通の品目を栽培すればロットを確保できる ③品目、作型が増え指導側の負担が増える	①経営として成り立ち有機農業の目的からこのようなハウス活用の可能性は少ない ②育苗を各自で行う必要がある
①共通管理ハウスで、葉物野菜及び果菜類両方の栽培技術を学べる ②2人管理のハウスでは、同じ品目を選択した人と相談・協力することができる ③育苗ハウスや資材等の保管ハウスを確保することができる	①共通管理ハウスで、葉物野菜及び果菜類両方の栽培技術を学べる ②2人管理のハウスでは、同じ品目を選択した人と相談・協力することができる ③育苗ハウスや資材等の保管ハウスを確保することができる	①個人管理ハウスではなくなる ②2人管理は人間関係でのリスクがある ③希望の品目で上手くマッチングできない場合の対策が必要

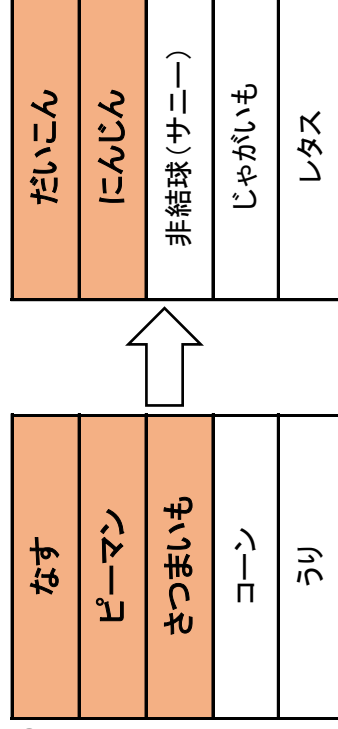
# 栽培品目のサイクル

【想定】ハウス4畝、露地5畝

## 1 ビニールハウス



## 2 露地



△播種 □鉢上げ ○定植 ■収穫

作型/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
ほうれんそう	△	■	■	△	■	■	△	■	■	△	■	■	
こまつな	△	■	△	■	△	■	△	■	■	△	■	■	
しゅんぎく	△	■	△	■	△	■	△	■	■	△	■	■	
みずな	△	■	△	■	△	■	△	■	■	△	■	■	

ミニトマト抑制			△	□	○	■	■	■	■				
こまつな・ねぎ										△			
きゅうり半促成	○	■	■	■									購入苗
なす促成				△	□	○	■	■	■	■	■	■	
きゅうり抑制				△	○	■	■	■	■	■	■	■	

ほうれんそう	△	■	■	△	■	■	△	■	■	△	■	■	
こまつな	△	■	△	■	△	■	△	■	■	△	■	■	
しゅんぎく	△	■	△	■	△	■	△	■	■	△	■	■	
みずな	△	■	△	■	△	■	△	■	■	△	■	■	

なす促成				△	□	○	■	■	■	■	■	■	
きゅうり抑制			△	○	■	■	■	■	■				
ミニトマト抑制			△	□	○	■	■	■	■				
ミニトマト抑制			△	□	○	■	■	■	■				

なす露地	○		■	■	■	■							購入苗
だいこん越冬							△	■	■				
ピーマン露地			○	■	■	■							購入苗
にんじん					△	■	■	■	■				
さつまいも			○	■	■	■	■	■	■				購入苗
非結球レタス							△	○	■	■	■	■	
スイートコーン	△												
じゃがいも秋						△	■	■	■				
うり類露地			△	○	■	■	■	■	■				
レタス							△	○	■	■	■	■	